

果実の肥大が進んでいます。  
7 月中には、粗摘果を一通り行いましょう！

## 1 令和元年6月の気象

令和元年6月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、第3半旬が平年より1.7℃低く、第6半旬が平年より1.9℃高く、他はほぼ平年並みであった。月平均気温は20.9℃で、平年より0.2℃高く、前年より0.5℃低かった。

降水量は、第1半旬はほとんど降雨がなく、第2、第3半旬は平年より多く、他は平年並み～平年より少なかった。月合計は299mmで、平年の123%、前年の106%であった。

日照時間は、第2、第5半旬は平年より少なく、他は平年並み～平年より多かった。月合計は157時間で、平年の118%、前年の90%であった。

表1 令和元年6月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	20.5	19.7	20.5	2	26	1	34	29	54
2	19.7	20.1	21.2	137	29	72	16	26	23
3	18.6	20.3	20.7	75	47	47	24	22	22
4	22.0	21.2	19.4	13	44	65	52	20	9
5	20.6	21.1	21.5	48	55	96	9	18	22
6	23.9	22.0	25.0	25	43	2	22	19	43
平均/計	20.9	20.7	21.4	299	244	282	157	133	174

## 2 果実及び樹の生育

本年の着果量は早生温州、普通温州とも前年より多い傾向である。6月の日照時間が平年に比べて長く、また降水量も多く推移しているため、果実肥大は順調である。

病害虫の発生状況としては、6月初旬からハモグリガ及びアオバシハゴロモ幼虫の発生がみられる。暖地園芸研究所に飛来する果樹カメムシ類については、5月に引き続き少発生ないし中発生程度であった。

## 3 7～8月の栽培管理

### (1) 摘果

摘果は粗摘果と仕上げ摘果の2回に分けて行う。

1回目の粗摘果は、早生温州の着果量の多い樹では6月下旬から、普通温州の着果過多となっている樹では7月中旬から葉果比10程度で行う。粗摘果の1ヶ月後となる7月下旬から1果当り葉数で早生温州は25枚、普通温州は20枚程度で仕上げ摘果を行う。

着果量が少ない樹では、早生温州、普通温州ともに粗摘果は行わず、他の樹よりも遅めに仕上げ摘果を行うか、収穫1ヶ月ほど前の樹上選果のみとする。

着果量が中程度の樹で間引き摘果する場合は、早生温州、普通温州ともに内なり、裾なり、ふところなりの果実を摘果し、病害果、虫害果、キズ果等の外観不良果を優先的に、全体を軽く間引き摘果する。普通温州は果実肥大が進みやすいため基本的に早期摘果は行わず、樹勢の落ちている樹のみ行う。

着果量が多い樹では、早生温州では、内なり、裾なり、ふところなりの果実を全摘果し、樹冠表面の外観不良果、大玉果、小玉果を間引き摘果する。普通温州では果実が肥大しやすいため枝別摘果とし、着果させる枝は軽く摘果するのみとする。

## **(2) マルチ資材の被覆**

高品質果実の生産にマルチ栽培は有効である。被覆の時期は、早生温州は7月下旬、普通温州は8月上旬を目安に開始する。土壌の乾きやすさや灌水設備の有無によって、被覆開始時期や地表面に対する被覆割合を調節する。マルチ栽培の適地は、水はけと日当たりが良く、着果量が中程度以上の園地である。

## **(3) 主な病害虫の防除**

### **1) かいよう病**

かいよう病多発園では、葉害に注意しつつ、予防目的で銅水和剤（クレフノン加用）を散布する。特に台風の襲来前には予防的に散布を行う。

### **2) 黒点病**

幼果期から成熟期にかけて感染、発病する。発生源は樹上・園内及び周辺の枯枝なので、丁寧に枯枝を除去する。ジマンダイセン水和剤／ペンコゼブ水和剤の予防効果は降雨によって低下するため、散布からの累積降水量 250mm 前後を目安に次の防除を行う。

### **3) ミカンサビダニ**

この時期から9月まで果実を加害する。被害が拡大する恐れがあるため、果実1～2個の被害を見たら直ちに防除する。特に、樹冠の内部・上部など薬剤のかかりにくい部分に発生が多いため、摘果時に注意深く見る。

### **4) ミカンハダニ**

果実や葉を加害する。重要な防除時期は梅雨明け期であるが、気象条件によって早晚があるので注意する。寄生葉率が30%以上になった時点で速やかに防除を行う。

### **5) ミカンハモグリガ**

隔年結果している樹や苗木等、夏枝の発生が多い樹において発生が多い。モスピラン水溶剤等殺虫剤を散布する。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合があります。

《 生育情報の問合せ先 》 千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室

電話 0470-22-2961※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>